

葛葉荘の建設場所決定

補正予算

一般会計に3億9626万円追加し、総額を61億9793万円としました。支出では、公共施設等整備基金に2億9千万円を積み立て、基金(貯金)総額は、49億1588万円になります。補正額と主な予算の使いみちは、左の表のとおりです。

27年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3億9626万円	61億9793万円

《主な予算の使いみち》

- 養護老人ホーム「葛葉荘」の建設用地取得費費など・・・5960万円（※内田子地区に整備。28年度末に完成予定。）
- 公共施設等整備基金の積み立て・・・2億9000万円
- 小屋瀬小、江刈中学校太陽光発電設備整備（増額）・・・880万円
- 中小企業振興資金利子補給・・・300万円
- 自治総合センターコミュニティ助成金・・・240万円
・下冬部七ツ物保存会（太鼓、音響設備など）

議員の判断（議決結果）

○ 7月定例会議で、議員の判断で決定した議案（※今回は賛否が分かれた議案はありませんでした）

議案等番号	議員名 件名と主な内容	議決結果	議員名											
			山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木春治	姉帯春治	小谷地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久		
議案33号	平成27年度葛葉町一般会計補正予算（第1号）・・・3億9626万円を追加して予算額61億9793万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34号	葛葉町定住促進住宅条例の一部を改正する条例・・・中村地区に新たに定住促進住宅を整備。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35号	葛葉町清掃センター大規模改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて・・・清掃センターの大規模改修工事の請負契約の締結。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36号	江刈中学校校舎及び屋内運動場耐震改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて・・・江刈中学校校舎などの耐震工事の請負契約の締結。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37号	財産の取得に関し議決を求めることについて・・・第3分団と第4分団の消防ポンプ自動車を更新。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて・・・藤岡徹さん（新町）を推薦（再任）することに決定。	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて・・・荒谷光子さん（小田）を推薦（新任）することに決定。	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認1号	葛葉町町税条例等の一部を改正する条例制定の専決処分に関し承認を求めることについて・・・マイナンバー制度の導入などによる条例改正。	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1号	平成26年度葛葉町国民健康保険病院事業会計決算の認定について・・・26年度葛葉病院事業会計決算の認定。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願・・・県が行っている医療費助成制度の給付方法を、全て現物給付を導入するように求める意見書を、県や国へ提出を求める請願。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委3号	葛葉町議会総合条例の一部を改正する条例・・・条例中の文言整理や、議員の欠席届の規定の改正など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委4号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める意見書の提出について・・・請願第3号の採択を踏まえて、その趣旨に沿った意見書を県に提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委5号	地方自治体の医療費助成制度における現物給付導入に係る国庫負担金削減の撤廃を求める意見書の提出について・・・請願第3号の採択を踏まえて、その趣旨に沿った意見書を国などに提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。

～岩手地区議員大会～

地域の課題 早期解決へ

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、雫石町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するために、毎年開催しています。大会では、道路整備など7項目の要望事項を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、鈴木満議員が「県立高等学校の存続」について、地域の実態を考慮した学級定員にするなど、均衡ある高等教育を確保でき

県立高校の存続など
要望7項目を承認

岩手地区議会議長会（中崎和久会長）主催による、第62回岩手地区議会議員大会が7月2日、雫石町で開催されました。地区内の議会議員、来賓として地区内の市町長など約120人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、雫石町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力するために、毎年開催しています。大会では、道路整備など7項目の要望事項を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、鈴木満議員が「県立高等学校の存続」について、地域の実態を考慮した学級定員にするなど、均衡ある高等教育を確保でき



提案説明する鈴木議員

岩手地区議会議長会 要望内容（要約）

- ① 広域的な観点からの道路整備の早期実現
- ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
- ③ 県立高校の存続
- ④ 魅力ある農業・農村を復活させる農業振興対策の推進
- ⑤ 林業担い手確保対策、林業施策の充実強化
- ⑥ 農業農村整備にかかる財源確保
- ⑦ 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）の見直し

～研修会～

目をしっかりみて
話す大切さを

大会終了後、IBCアウンズ学院学院長の河辺邦博氏を講師に、「目で話す」と題して講演が行われました。

講演では、人の話を聴くこと、聴く力を身につけることが現在とても重要なため、目をしっかりみて話すことの大切さを力説していました。また、コミュニケーション能力の向上によって人間が進化した説明もあり、とても興味深い内容でした。話し方の奥深さや心を込めた会話の仕方など、議員活動において大変参考となる内容でした。



巧みな話術で講演を行う河辺氏